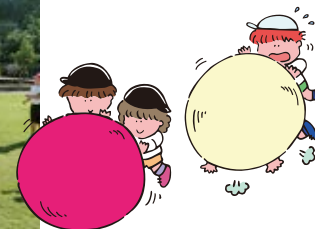


学校トピックス

田栖川小学校・吉川分校の子供たちとおばあちゃん
なぎ園のおいしいちゃん



10月9日(火)秋晴れの下、養護老人ホーム「なぎ園」の運動会に田栖川小学校・吉川分校の子供たちが参加しました。

ダンスを披露したり、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に、空き缶釣りゲームをしたりして運動会を楽しみました。

日頃、子供たちと関わる機会が少ないおじいちゃんやおばあちゃんたちにとっても、子供たちと一緒に楽しんだ運動会は、良き思い出になったことでしょう！

編集後記

久しぶりに友達に電話をすると、いつもの事で「歳」の話になりました。「もの忘れがひどい」「覚えられない」「言葉が出てこない」など、出るわ出るわ！次から次へと出来ないことが出てきます。最後は「情けないねえ」とボヤキ合い。皆さんはそんなことないですか？！

そんな話の中で、私が「最近数字にも弱くて…」と言うと、すかさず「あんたは昔からや!!」ときつーいお言葉！
どうせそうですよ！数学は大の苦手、数字を見るだけで引いてしまう私です！

(何でも歳のせいにするのは辞めましょうと反省しているオカンより)

編集部では皆様の投稿を募集しております。

『子どもの楽しいひとこと』『子育ての思い出』『我が家のルール』等々、内容は何でも結構です。又、感想等もどしどしこちらまでお寄せ下さい。

湯浅町 子育て・家庭教育支援チーム「とらいあんぐる」

☎(代)TEL63-2525 子育て・家庭教育担当まで

つながろう 湯浅！

子育て・
家庭教育情報誌

すまいる²



平成30年10月

第43号

湯浅町
湯浅町教育委員会



熊野古道糸我峠越え

湯浅中学校1年生



10月12日(金)湯浅中学校1年生116名と保護者が、糸我峠を越え吉川までの熊野古道を「湯浅ボランティアガイド協会」の語り部さんの案内で歩きました。

湯浅駅から宮原駅まで電車で乗車、宮原駅からスタートし、途中、糸我の得生寺に立ち寄り、糸我峠を越え吉川の老人憩いの家で昼食タイム。湯浅スポーツセンターで保護者と解散し、深専寺に到着。

生徒たちは、語り部さんの半邊さんや深専寺の副住職様の講話を聴きながら、熊野詣や湯浅町の歴史について学び、その様子をカメラに収め、ワークシートに熱心に記入していました。



得生寺にて！



頂上はもうすぐ！



語り部さんの説明を受けながら！



吉川への下り坂！

- ・京都の文化がこの古道を通して伝わったため、今でも京都言葉の「ひやこい」等の表現が湯浅に残っている。
- ・昔は白浜の「むろの湯」を求めて歩いた。
- ・この熊野古道をとお参りすることで、極楽浄土を求めていた。

学んだ事



- ・湯浅の歴史を知ることができた。
- ・足が痛かった。楽しかったけど疲れた。(「疲れた!」と言う子供たちでしたが、実際に歩いて体験したことで、昔の人々の思いを肌で感じた事でしょう。)

生徒の感想



ミカン畑の中をぬけ！



昼食タイム！



深専寺に到着！

すまいる家の日

《 11月は児童虐待防止推進月間です 》



子育てワンポイントアドバイス

昨今、児童虐待に関する痛ましい事件が発生しています。
私たちの身の周りにも、「子供がよく泣いている」「おどおどしている」「よく怒鳴り声が聞こえる」「衣服がいつも汚れている」など気づいた時は、間違ってもいいのでためらわず「町役場」や「児童相談所」または「189(いちはやく)」まで連絡をしてください。(通告者の氏名等の、個人情報を守られます)
子供たちが安全で安心した生活が送れるためには、地域や近隣の方々の協力が必要です。



はまちゃん の 簡単クッキング No.43

《 鯖缶のおろし煮 》



今回は缶詰を使った簡単料理です!!

【材料】 4人分 (1人分: 155kcal)

・鯖缶(醤油煮・190g) …… 2缶
・大根 …………… 400g
・しめじ …………… 1パック
・砂糖 …………… 小さじ1
・しょうゆ …………… 小さじ1
・水 …………… 100cc
・細ネギ …………… 2本

【作り方】

- ① 大根はすりおろし、水気をきる。ネギは小口に切る。しめじは石づきを落とし、小房に分ける。
- ② 小鍋にAを入れ、沸騰させる。
- ③ ②に鯖缶を汁ごと入れ、しめじも加え、落とし蓋をして4~5分煮る。
- ④ 大根おろしとネギを加え、一煮立ちさせ、器に盛りつける。



- ★ 鯖にはDHAやEPAという動脈硬化を予防したり、脳の働きを助けたりしてくれる成分が含まれています。
- ★ 缶詰の鯖は骨ごと食べられるので、カルシウムも取れます。又、吸収を助けるビタミンDも含まれるので、骨も丈夫にしてくれます。



情報誌「すまいる」配布時に、「感情的になっていると感じる時はありますか?」「イライラするのはどんな時?」「そんな時はどうしているの?」などお聴きしました。少しご紹介します。

お母さん方より

- ・イライラするのが私の仕事です。
- ・日常茶飯事イライラするわ!
- ・イライラするので、もう言うのをやめた!
- ・中学生になって最近はあまりなくなったよ。



ホントに困ったものね!!

- ・イライラしない家があるんですか?
- ・その場を離れるようにしているの。
- ・深呼吸してるよ。

何回言ったら分かるの!!



その他

- ・中3の受験生なので勉強しなさいと言ってもしないし、言ったら子供も怒るし、こちらも忙しいのでついイライラして言ってしまう。(共働きの家庭で多数ありました)
- ・言ってしまうが、妻がフォローしてくれるよ。(お父さんより)
- ・片付けをしない孫にガミガミ言うと、返って家族に怒られるわ!(祖母の方より)
- ・ついつい言ってしまうのよね!!(お父さんや祖母の方より)